

佛心寺 お手紙掲示板 六月



梅雨の晴れ間に、夏の気配を感じる頃となりました。軒先などで風鈴が鳴ると、その音に涼しさを覚えることはありませんか。

ある実験では、風鈴の音を聞くと、実際に体の表面の温度がわずかに下がったという結果が報告されています。気温そのものは変わらないのに、「音」を聞くだけで、私たちの身体は涼を感じ取る。これは、長い時間をかけて「風鈴の音＝涼しい」という感覚を、心と身体に育ててきたからだと言われています。

目には見えない音が、私たちの身体を整えている。考えてみると、不思議なことです。

見えない音が
暑さをほどく

亡き人とのつながりも、これに少し似ているのかもしれませんが。姿は見えなくても、ふとした折に思い出す声や言葉が、今の私を、ほっとさせてくれる。

目に見えないのに私たちの身体を整える風鈴の音のように、亡き人の存在もまた、私を支えてくれている。そう感じるがあります。

これからやってくる夏。そしてお盆を迎えます。風鈴の音に耳を澄ませるように、亡き人の気配に心を傾ける時間を過ごせるといいですね。